

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】 商工課

会議の名称	茅野市中小企業振興審議会		
開催日時	令和2年11月25日(水) 13時15分～17時00分		
開催場所	茅野市役所 7階 705会議室		
出席者	<p>【委員】寺澤委員、矢島正恒委員、小笠原委員、矢崎貞和委員、矢島芳美委員、小池委員、清水委員、桃崎委員、平澤委員</p> <p>【事務局】今井市長、牛山商工課長、大蔵工業・産業振興係長、北原産業振興担当、松田工業・産業振興係主査</p> <p style="text-align: right;">合計14名(委員9名、事務局5名)</p>		
欠席者	1名		
公開・非公開の別	公開 <input type="radio"/> 非公開 <input checked="" type="radio"/>	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
商工課長	<p><b>次第1 開会</b></p> <p>開会のあいさつ</p> <p>審議会の成立について申し上げます。茅野市中小企業振興条例第11条第5項の規定で、審議会の開会は委員の過半数の出席が必要とされています。委員数11名のうち、本日10名のご出席をいただいています。過半数を超えていますので、本日の審議会が成立したことをお伝えさせていただきます。</p> <p>それでは次第に沿って進めさせていただきます。</p>		
商工課長	<p><b>次第2 委嘱書交付</b></p> <p>今年は委員の改選の年でありまして、委員の皆さま全員へ、おひとりずつ委嘱状をお渡しするところではございますが、時節柄もあることと、またほとんどの委員の方が昨年から継続となられることから、お席にお配りしました委嘱状と委員名簿をもって審議会の委員の委嘱とさせていただきます。</p>		
商工課長	<p><b>次第3 市長あいさつ</b></p> <p>次に今井市長からごあいさつ申し上げます。</p>		
市長	<p>本日はご多用のところご参集いただきありがとうございます。本審議会は中小企業振興条例に基づいて設置された諮問機関であり、工場の立地促進や商工業者や観光業者の育成のため、事業者のハード整備に対する補助金の審査とともに、茅野市の中小企業振興策や経済対策についてご意見をいただく場であります。市の支援策の中でも額の大きい補助金を扱うものであり、大変重要な会議でありますので、委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただきたい。本日は、新規の案件が4件、継続案件が</p>		

	<p>4件の補助金計8件でして、慎重なご審議をお願いいたします。このあと現地審査をして皆さまで確認をし、評価いただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>コロナウィルス感染症も現在は第3波ということで依然として社会情勢は混乱している。コロナを十分に警戒しながらも経済対策をしていくという両輪が必要である。</p> <p>茅野市としても商工会議所と連携しながら、地域経済の事業者の声を拝聴し、経済対策を打ち出していきたいと考えている。</p>
<p>商工課長</p>	<p>なお、今井市長は次の公務のため、ここで退席をさせていただきます。 (市長、公務のため退席)</p>
<p>商工課長</p>	<p><b>次第4 自己紹介</b></p> <p>先ほど委員さんには委嘱書を交付させていただきました。ここで、誠に恐縮ですが自己紹介にてお願い申し上げます。名簿順に寺澤委員さんからお願いいたします。</p> <p>(委員の自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日1名の委員さんが欠席されておりますので、お名前のみご紹介させていただきます。 茅野商工会議所の女性会会長の小林佐由美様をご欠席です。</p> <p>(事務局の紹介)</p>
<p>商工課長</p>	<p><b>次第5 会長、副会長選任について</b></p> <p>選出につきましては、条例に規定がございまして、委員様の互選により選出することとなっております。ここで互選をお願いいたします。</p> <p>ご意見がなければ、事務局として副案がございまして、発表させていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、よろしくをお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本審議会の正副会長の決定につきましては、慣例では会長には工業分野に広く精通している茅野商工会議所の工業分野の副会頭に、副会長には議決機関として市政を広くチェックしていただく市議会議員の方をお願いしているところでございます。事務局案としましては、本日も出席いただいております商工会議所副会頭の寺澤委員さんを会長に、市議会議員の矢島委員さんを副会長をお願いしたいと考えております。よろしくをお願いします。</p>

商工課長	<p>ただいま、事務局案をご提示させていただきました。よろしいでしょうか。</p> <p>(拍手)</p>
商工課長	<p>それでは、寺澤会長、矢島（正恒）副会長から一言ごあいさつを頂戴したいと思います。</p>
会長	<p>コロナ禍での未曾有の社会状況ではありますが、皆さんのお力添えとご協力をいただき、運営をしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
副会長	<p>寺澤会長を補佐して、会をスムーズに進行するよう努めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
商工課長	<p>それでは正副会長さんは前の席へご移動をお願いします。</p> <p>ありがとうございました。それでは次第6の会議事項につきましては、寺澤会長さんに進行をお願ひしたいと思います。</p>
	<p><b>次第6 会議事項</b></p>
会長	<p><b>次第6－（1）審議会の公開について（資料1）</b></p>
事務局	<p>まず、（1）の審議会の公開・非公開の決定について審議をいただきます。</p> <p>(資料1に基づき説明)</p>
会長	<p>事務局から説明がありましたとおり、審議会を公開にするか非公開にするか、皆さんのご意見をお願ひします。</p>
委員	<p>各企業の機械や設備等、秘匿情報がございますから、非公開ということでやっていたらと思ひます。</p>
会長	<p>その他にご意見等はございますか。</p> <p>(異議等なし)</p> <p>無いようですので本審議会は非公開とさせていただきます。</p>
	<p><b>次第6－（2）中小企業振興補助金の交付について</b> (以上の内容については、非公開とさせていただきます)</p>

### 次第6－(3) 中小企業振興について（意見交換）

事務局

資料4に基づいて説明させていただきます。今年は2月頃から世界規模の感染症の拡大があり、経済への打撃はかつてない規模となっております。また自然災害等とは異なり、被害が長期化していることに特徴がある。景気動向も歴史上最悪の指標になるのではないかとされている。そこで国・県・市ではかつてない規模の支援策を打ち出している。後ほどの意見交換の前段階として既存の支援策と経済情勢についてご紹介させていただきます。

(資料の説明)

資料の説明は以上となります。

委員

現在の支援メニューは感染予防を目的にしたものがほとんどであるが、感染者が増えていることから、感染者や勤務する事業所への施策が必要になってきていると感じる。具体的には感染者への対処に係る補助金・支給金、ホテルへの隔離、勤務先への助成金などが考えられる。

事務局

先程、紹介があったが感染者の発生した消毒費の補助金を既に用意している。保健所の指示に基づく消毒が対象となる。現時点では申請はない状況だが、最近では感染者が出た場合、勤務先の事業所が公表する事例がスタンダードになってきている。今後は従業員が感染した場合に隠匿するのではなく公表し、補助申請をしてくる事業所は増えてくるのではないかとと思われる。

また「新しい生活様式導入補助金」では設備・備品を補助対象としていたが、持続化給付金の受給者に対し、消耗品を対象に拡大した新しい補助制度を12月議会上に上程した。

それから企業の営業マンが陰性であることの証明を求められる機会が増えているということでPCR検査の補助も同様に上程した。

やはり感染拡大を抑えるためには感染予防が第一であり、予防を重点的に実施していきたい。

会長

感染の疑いのある者や濃厚接触者とされた者を休養させる必要があるケースが想定される。感染者は当然として、二次感染の拡大を抑えるために周囲の者を休ませる必要があるが、そうした支援策はあるのか。

事務局

雇用調整助成金の運用がかなり柔軟な制度に改正されてきており、事前の休業計画や休業理由も省略化され、休業事由の記載欄も削除されたことから、雇用調整助成金の制度の枠内で対応が可能と思われる。労働局やハローワークに相談していただきたい。

雇用調整助成金の制度は12月末までとなっているが、政府では延長を検討しているとの報道があった。(後日、2021年2月末までの延長が正式

	決定)
会長	PCR 検査の補助制度について詳細な説明をお願いしたい。
事務局	<p>徐々に対面型のビジネス商談が再開してきており、首都圏との往来も同様に増えてきている。その中で取引先から陰性であることの証明を求められるケースがあるという事例を聞いている。また海外とのビジネス目的の往来も再開し、渡航前・渡航後に PCR 検査を受けなくては行けない。そうしたなかでその費用負担を一部補助するという事で当制度を新設した。</p> <p>茅野市内の医療機関では「ともみ内科」と「ライフクリニック蓼科」の2医院で PCR 検査を実施しており、1回あたり2万円程度かかるのである。そこで茅野市として上限額1万円で2/3を補助する制度を創設し、実質的に半額相当を補助する支援策を用意した。12月議会に上程しており、市議会で議決されれば、11月1日に遡って接種した分が対象となる。領収書を保管しておいていただく必要があり、議会への上程前にプレスリリースすることにした。</p>
委員	<p>市内では2医院で PCR 検査を受け付けているとのことだが、その他の医院の動向は。検査をやってくれる医院を増やしたほうが市民としては安心できる。特に観光やサービス関連会社は従業員に受けさせたいという会社は多い。接客サービスする者は常に感染への恐怖感を持って働いている。</p>
事務局	<p>茅野市医師会もこの制度に関心を持ってもらっており、相談・協議している。今後、PCR 検査を実施する医院は増える可能性はある。しかし PCR 検査を実施していることを公にしたいと考える医院もあるという話も聞いている。</p> <p>海外渡航の際は72時間以内に検査した陰性証明が必要となる。空港内で検査を実施しており、そこで検査を受ける事例も想定されることから、市外・県外での施設で検査した分も対象としている。</p>
会長	「新しい生活様式導入補助金」の反響は。
事務局	現時点で約180件の申請がある。商工会議所が会員向けにチラシを配布してくれたので、ここへきて問い合わせが増えている。来年の1月末が申請期限であるが今後さらに増える見込み。
委員	先ほどの資料の説明でもあったが大学生のインターンシップ自体が減っている。大学としても学生の行動について慎重に指導していた。人材育成の補助金の申請も減っているということで学生～社会人の人材育成について危惧している。
事務局	人材育成制度についてはオンラインによる受講も対象にすることを検

	<p>討していきたい。</p>
副会長	<p>茅野市議会でも産業支援や助成についてさらなる支援が必要だという認識でいる。先日も商工会議所と意見交換を行った。経済界の意見を拝聴していきたい。</p> <p>その他に何かご意見ございますか。</p> <p>(特に意見なし)</p>
会長	<p>ではこれで審議事項を全て終わらせていただきます。ありがとうございました。事務局からお願いします。</p>
商工課長	<p><b>次第7 その他</b></p> <p>せっかくの機会なので、コロナ第3波の状況や現在の課題などを拝聴したい。地域経済に係るテーマについて広く全般的な意見を忌憚なくお願いできればと思います。</p>
委員	<p>10・11月は修学旅行や部活・クラブなどの学校関連が動き出し、前年の7割まで復帰したが、その後の第3波で先行きは厳しくなりそうである。GoToは35パーセント値引きと15%の商品券が付くことで実質半額となり、非常にお得感があり、大規模宿泊施設を中心に盛況のようである。しかしながら、ほとんどが個人旅行であり、団体旅行は依然として厳しい。団体バスが立ち寄る施設の集客は厳しいようだ。With コロナと言われているが、どうコロナと共存していくかが課題だと感じている。</p>
委員	<p>観光業・飲食業が苦境であることは報道等でかなり知られているが、それに付随・関連する業種もマイナスの影響は大きくなっている。</p> <p>駅前商業会では人を集めないイベントということで、アマビエの塗り絵コンテストを開催したところ想像以上の応募作が集まった。</p>
委員	<p>10月以降、治具・量産関連は前年比7割まで戻ってきている。しかしながら、設備投資関連は依然として停滞している。海外との往来ができないので、海外での設備投資案件がストップしている。設備投資事業は現地での詳細な打ち合わせを経て進めるものであるが、商談そのものがない状況である。ビジネス目的の渡航は緩和するという政府の方針に期待しているが、実際に受注が入るのは商談がまとまってから3ヶ月はかかるため、回復は先になる。年明けの春頃にやっと動き出すのではないか。自動車関連はだいぶ回復してきているようだ。</p>
委員	<p>春期において通勤等のガソリン需要は2割減、観光地では半減。全国平均は2～3割減。産業用燃料も同様に2～3割減。10月以降は各々ほぼ前年並みに回復してきている。</p> <p>スーパーは巣籠もり需要で好調のようだがコンビニは低調。全国平均</p>

	<p>では2割減、都心部のオフィス街の店舗ではリモートワークの普及により5割減という状況のようである。都心のオフィス街を中心にコンビニの閉店が増えているが今後もさらに増えると言われている。</p> <p>原油は投機対象となっている。各国がロックダウンを実施した4月には原油の先物価格がマイナスになるという歴史上初の事態も発生した。先日、製薬会社がワクチンの開発を発表した際は原油価格が急上昇し、現在も値上がり基調。市況株価も上昇しており、日経平均は20数年ぶりの高値となっている。融資を受けた資金が堅調な投資対象へ流れているという分析もある。なんらかの事情により金融・証券市場が危機となった際はリーマンショック以上の打撃があるのではないかと。</p>
委員	<p>製造業の一線からは退いており、工業の情報には疎くなっているが、現在の事業の関連でいうと生活用品の動向は好調のようである。</p> <p>2021年はオリンピック、2022年は御柱が開催予定であるが、世界や日本の状況は厳しく、コロナの状況次第では日本の先行きは厳しくなる。同様に諏訪地域への影響も甚大だと感じている。矢崎委員の発言のように株価の下落が現実となると経済への打撃が大きいと心配している。</p> <p>地方は医療体制が潤沢ではないため、感染者の対応について心配している。大都市の設備や人員が揃った医療機関でもコロナ感染者が増えるとかかなり疲弊しているようで、医療崩壊の可能性が懸念されている。地方では資源が限られているため感染者が増えると医療崩壊の事態に陥りやすいのではないかと。よって平時から医療体制の構築を進めておく必要があると感じている。</p>
委員	<p>感染を抑えるため春から学生の校舎への出入りを制限していたが夏休み明けの9月から大学校舎へ出入りが可能となった。若者は免疫が強く発症しにくいいため無症状病原体保有者として周囲の者に拡散してしまう恐れがあるので、大学としても学生の生活について注意深く指導している。</p>
委員	<p>春から夏はウェブ講義がスタンダードとなり、外出しなくなったため学生の体力低下を心配している。併せてコミュニケーション能力の低下も危惧している。</p> <p>採用面接をウェブ面談で実施する企業も増えてきているが、小規模の会社ではウェブ面談ができない企業もある。そうした事業者向けに行政による施設の提供やハード機器の貸出などのサポートも必要ではないかと。</p>
委員	<p>社会人教育を担っている立場からするとDX（デジタルトランスフォーメーション）は諸刃の剣である。東大などの最先端の教育がウェブ講義により誰でも受講できるようになったが、そうしたことで地方大学の存在意義が揺らいできている。</p> <p>地域の中小企業のご意見を聞きながら、地域に根差した大学の在り方を考えないといけないと考えている。</p>

<p>会長</p>	<p>商工会議所としては経済を回していくことが重要だという共通認識でいたが第3波の状況下でまたちょっと慎重にならないといけないと考えている。観光のGoToや飲食について積極的にPRしてきたが、「新しい生活様式」に留意して安全運転していかないといけないという認識でいる。コロナ禍のなかで2拠点居住や移住志向の動きがあり茅野市内の不動産業や別荘関連は追い風と聞く。アウトドアレジャー施設も盛況と聞く。そうした茅野市の強みを官民一体でPRしていくことは大事だと思う。</p> <p>弊社はリーマンショックから東日本大震災を経て10年以上厳しい状況が続いているが、春頃からホームページを通じた問い合わせが増えてきている。商社が動いていないなかで、相手先がウェブを閲覧して直接問い合わせの電話がきて、商談をするケースが増えている。今後はウェブによる営業PRに力を入れていきたいと考えている。まだ大型案件が成立した事例はないが、これからはウェブを通じた受注は増えてくるのではないかな。</p> <p>半導体は10月以降は回復してきている。自動車も回復傾向となってきた。コロナさえ抑え込めれば見通しは明るいのではないかな。</p>
<p>商工課長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。今後の施策等への参考とさせていただきます。</p>
<p>商工課長</p>	<p><b>次第8 閉会</b></p> <p>それでは以上をもちまして、令和2年度 茅野市中小企業振興審議会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>